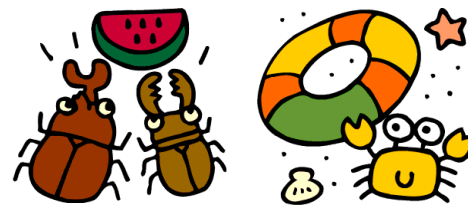


《2学期が始まりました!》

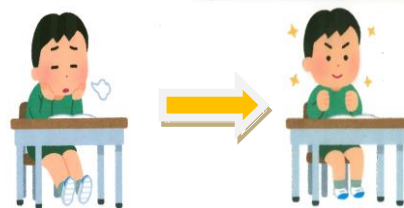


28日(木)に2学期が始まりました。正門前で待っていると、笑顔のビーミーっ子たちに会えました。「楽しい夏休みやった?」と尋ねると、多くの子が満面の笑みでうなずいてくれました。教室を見ても友達と楽しそうに話をしています。やはり子どもたちがいてこそ、学校は元気になるんだと実感しました。

「万博に行ったよ」「スイカ割りしたよ」「おうちでたくさん本を読んだよ」「いとこが遊びに来たよ」など、多くの子が校長室に話しに来てくれました。終業式で、「夏にしかできない体験をしましょう」と話しましたが、おうちの方のお力添えのおかげで、楽しい思い出ができたようでこちらも嬉しくなりました。

この夏、元阪神タイガース監督の矢野燿大さんの講演を聞く機会があり、始業式でその話をしました。チャンスで打席に立った時、「打てなかったらどうしよう」という思いがよぎって失敗した場面、ピンチで「打たれたらどうしよう」と考えたときに打たれた場面をたくさん見てこられたそうです。逆に「ここで打ったらヒーローや」「ここで押さえたらおいしい場面」と考える選手が結果を出してきた場面も数多くあったとか。前者は「チャンスがピンチ」になり、後者は「ピンチをチャンス」に変えているとのことでした。

学校生活でも「勉強がわからない⇒賢くなるチャンス」「友達とけんかした⇒より仲よくなるチャンス」「仲良しの子と同じ班になれなかった⇒友達関係を広げるチャンス」だと話しました。2学期、修学旅行、自然学校、音楽会をはじめいろいろな行事が予定されています。うまくいかないとき、ピンチをチャンスに変えようと頑張ってくれることを期待しています。



また、嬉しかったこととして、子どもたちのアンケートを集計していると、ほぼ全員の子が「いじめはどんなことがあってもいけない」と回答していました。「だって～だから」といじめに理由をつける子がいないということです。しかしながら、わかっているけど「ふざけて」とか「いじめだとは思わなかった」とかで、自覚なく友達を傷つけてしまうこともあるかもしれません。「わかる」のつぎは「できる」です。いつも言っている「自分に、人に、周りのものに優しく」を心がけて、ゆりのき台小学校からいじめをなくそうと話しました。「己の欲せざるところ、人に施すなかれ」(論語)。「自分がされたくないことは、人にしてはいけない。」ビーミーっ子はこれをわかって、できる子どもたちであると思っています。

2学期もビーミーの丘の教育活動に、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

校長 松田 文貴

夏休みの最後に不審者対応訓練を行いました。校内に不審者が入ってきた時、また、子どもたちに危害を加えようとした時の対応の仕方や防犯対策について、三田警察の方に教えていただきました。また、校舎周りの防犯カメラも増設されました。子どもたちの安全・安心のために、これからも取り組みを進めていきます。ゆりのき台小学校は地域の方や学校支援ボランティアの方々など、多くの方が頻繁に出入りされます。外来者には、必ず名札を着用していただくようお願いしております。関係者と不審者を区別するうえでも、来校時には名札の着用をお願いいたします。また、保護者のみなさまで、ご用がある場合は、直接教室に行かず、職員室にお越しください。職員が対応いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

